

事業概要説明シート

事務事業番号 10101030003

事務事業名	環境教育推進事業		類似事業グループ	18.啓発
事業期間	1995年	～	担当部署	環境保全部環境総務課
総合計画体系	(施策目標) 環境保全を図るための活動を広げる			
公約		行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律、枚方市環境教育・環境学習推進指針
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(共同実施)
目的(何のために)	「枚方市環境教育・環境学習推進指針」に基づき、市民・事業者・行政が連携・共同して、地域で環境を学ぶ仕組みや幼児の環境学習の仕組みづくりを目指す。
対象(誰・何を対象に)	園児、小学生
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児のための体験型環境学習プログラム」として、市民や市職員が講師となり、市内の保育所(園)、幼稚園で環境出前講座を実施。 ・小学校高学年を対象とした環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の発行。 ・子供たちが夏休みに家庭で排出されるCO2排出量を体験し、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心を持ってもらうきっかけとして「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、小学校に配布。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	小学生などを対象に、自らの環境配慮の行動を紹介するため、出前授業等を行っている民間企業がある。
事業の必要性	自立した環境保全活動を推進するためには、幼児期等から環境問題に関心をもつことが重要であり、行政が主体となって環境教育を推進してきた。近年では、民間企業等においても、環境配慮の取り組みが浸透してきており、社会貢献のひとつとして子供たちを対象とした環境学習を実施する事業者も見られるようになってきた。

コ ス ト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.6人	5,040千円	1.0人	7,511千円	1.0人	7,700千円	
再任用職員		0千円		0千円		0千円	
非常勤職員等							
人件費計(A)		5,040千円		7,511千円		7,700千円	
直接経費(B)		549千円		600千円		1,071千円	
総事業費(A+B)		5,589千円		8,111千円		8,771千円	

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金			千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)			千円		千円		千円
その他			千円		千円		千円
一般財源		5,589千円		8,111千円		8,771千円	

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	印刷製本費	591,750 円
	消耗品費	8,260 円

事業概要説明シート

事務事業番号 10101030003

事務事業名	環境教育推進事業		類似事業グループ	18.啓発
事業開始年度	1995年	～	担当部署	環境保全部環境総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 環境出前講座	回	38	34	38
	② 環境副読本の発行	部	4,500	4,500	4,500
	③ 「ひらかたエコライフつうしんぼ」の配布	部	2,099	4,434	3,811
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 環境出前講座	円/回	49,075	97,905	88,552
	② 環境副読本の発行	円/部	673	711	750
	③ 「ひらかたエコライフつうしんぼ」の配布	円/部	497	419	529
目標とする成果 (費用対効果含む)	環境出前講座の開催回数38回を目標とする。また、様々な機会をとらえ、子どもたちが環境教育を受ける機会を増やすことで、環境問題への関心を高めていく。				
成果目標 達成状況	平成25年度は環境出前講座を34回開催。目標をわずかに下回った。			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	「広報ひらかた」の紙面や本市のホームページでのPR記事を掲載するほか、各保育所(園)や各小学校への案内文を送付。				
市民満足度	平成25年度の施策アンケートでは、本事業を含む施策については、重要度、満足度はともに普通となっている。また、環境保全活動の取り組み等に係る学校版環境マネジメントシステムを導入する学校園が増加している。				
特記事項	施策アンケートの主な自由意見には、「学生の多い町でもあるので、小中高以外の大学でも、環境問題やボランティア活動を強化するのも良いと思う。」とした意見があり、幼児期に限らず、幅広い世代に対して、環境教育の機会の創出や興味を持ってもらえるよう、取り組む必要がある。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	市が取り組みを行っている一方で、事業者においても、自らの環境配慮の取り組みを紹介するため、独自に学校や保育所、各種セミナーなどに出向き、それぞれの立場で環境学習会等を開催している。こうした取り組みを本市がコーディネートしていくことで、本市の環境教育の幅を広げる。
----------------------------------	----	---

一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業との役割分担により、事業のスリム化を図っては ・事業対象として効果的年齢層 ・約20年間実施してきた本事業実施における効果の詳細な検証が望まれる。
--------	--

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	
----------------------------------	--

事業概要説明シート

事務事業番号 10201080013

事務事業名	規格葬儀補助事業		類似事業グループ	7.補助金事業
事業期間	平成20年度 ~	担当部署	環境保全部環境衛生課	
総合計画体系	(施策目標) 安全で快適なまちをつくる			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)	

根拠法令	枚方市規格葬儀費用補助金交付要綱
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	生活困窮により、やむをえず葬儀を行えない市民に対して補助を行う。
対象(誰・何を対象に)	枚方市規格葬儀のうち略式葬を利用する者で、その料金を負担する資力がないもの。
事業内容	補助対象者が略式葬を行った場合における当該略式葬に要した基本となる料金の額(健康保険組合等から葬祭費等の支給を受けることができる場合は、当該支給額を控除した額)を交付する。 ※補助対象者:その属する世帯の収入が生活保護法の規定による保護の基準を超えない額で、かつ、料金を負担する資力がないと市長が認めたもの。ただし、同法による保護のうち、葬祭扶助をうけることができる者を除く。

目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	収入が生活保護の基準内でありながら、何らかの原因で生活保護を受けていない者のための、最終的な救済措置として必要な事業である。

コ ス ト																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度決算</th> <th colspan="2">H26年度当初予算</th> </tr> <tr> <th></th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正職員</td> <td>0.0 人</td> <td>0 千円</td> <td>0.0 人</td> <td>0 千円</td> <td>0.0 人</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>再任用職員</td> <td>0.0 人</td> <td>0 千円</td> <td>0.0 人</td> <td>0 千円</td> <td>0.0 人</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員等</td> <td>0.0 人</td> <td>0 千円</td> <td>0.0 人</td> <td>0 千円</td> <td>0.0 人</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費計(A)</td> <td></td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>直接経費(B)</td> <td></td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>130 千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td></td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>130 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算			従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	正職員	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	再任用職員	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	非常勤職員等	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	人件費計(A)		0 千円		0 千円		0 千円	直接経費(B)		0 千円		0 千円		130 千円	総事業費(A+B)		0 千円		0 千円		130 千円
	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算																																																				
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費																																																			
正職員	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円																																																			
再任用職員	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円																																																			
非常勤職員等	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円																																																			
人件費計(A)		0 千円		0 千円		0 千円																																																			
直接経費(B)		0 千円		0 千円		130 千円																																																			
総事業費(A+B)		0 千円		0 千円		130 千円																																																			

財源内訳																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度決算</th> <th colspan="2">H26年度当初予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>受益者負担(使用料等)</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>130 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算		国庫支出金		千円		千円		千円	府支出金		千円		千円		千円	受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円	その他		千円		千円		千円	一般財源		0 千円		0 千円		130 千円
	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算																																						
国庫支出金		千円		千円		千円																																					
府支出金		千円		千円		千円																																					
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円																																					
その他		千円		千円		千円																																					
一般財源		0 千円		0 千円		130 千円																																					

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額

事業概要説明シート

事務事業番号 10201080013

事務事業名	規格葬儀補助事業	類似事業グループ	7.補助金事業
事業開始年度	平成20年度 ~	担当部署	環境保全部環境衛生課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 補助金交付件数	件	0	0	0
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷補助金交付件数	円	0	0	0
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	過去に交付実績はないが、交付申請があった場合に備えて、2件分130,000円の予算措置を行っている。				
成果目標 達成状況	実績なし			目標達成度	測定できず
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	なし				
事業のPR	特に行っていない				
市民満足度	実績なし				
特記事項	「事業の必要性」に記述のとおり、本事業は生活困窮者の最終的な救済措置であり、何らかの理由で生活保護を受けておらず、葬儀費用に苦慮している方が葬儀を執り行うための制度である。したがって、平成20年度からの実施以来、交付実績はないが、市民の福祉の向上に資するものとして必要な制度である。				

一次点検における 事業の今後の方向 性及び具体的な今 後の取り組み方策	現状のまま継続	補助金交付要件に適合する申請があった場合において補助する。
--	---------	-------------------------------

一次評価結果	・実績なしなので見直しては。
--------	----------------

二次点検における 事業の今後の方向 性及び具体的な今 後の取り組み方策	
--	--

事業概要説明シート

事務事業番号 10201080011

事務事業名	枚方市規格葬儀事業		類似事業グループ	23.その他サービス提供
事業期間	平成20年度 ~	担当部署	環境保全部環境衛生課	
総合計画体系	(施策目標) 安全で快適なまちをつくる			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)	

根拠法令	枚方市規格葬儀に関する要綱
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(市が承認し、協定を締結した「枚方市規格葬儀取扱店」)
目的(何のために)	本市において簡素、低廉かつ厳粛な葬儀の執行を確保し、市民福祉の向上に寄与する。
対象(誰・何を対象に)	本市内において葬儀を執り行う市民又は本市内において死亡当時市民であった者の葬儀を執り行う者
事業内容	市が葬儀の仕様や金額を定め、市に協力する葬儀業者を「枚方市規格葬儀取扱店」として承認し、その取扱店が利用者との契約に基づいて葬儀を執り行う。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	明確な料金設定と安価で執り行える葬儀を普及するために必要な事業である。

コ ス ト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.3人	2,000千円	0.2人	1,660千円	0.3人	2,381千円	
再任用職員	0.0人	0千円	0.0人	0千円	0.0人	0千円	
非常勤職員等	0.0人		0.0人		0.0人		
人件費計(A)		2,000千円		1,660千円		2,381千円	
直接経費(B)		62千円		69千円		144千円	
総事業費(A+B)		2,062千円		1,729千円		2,525千円	

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金			千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)			千円		千円		千円
その他	117	千円	20	千円	0	千円	
一般財源	1,945	千円	1,709	千円	2,525	千円	

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	パンフレット・アンケート返信用封筒印刷製本費	68千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10201080011

事務事業名	枚方市規格葬儀事業	類似事業グループ	23.その他サービス提供
事業開始年度	平成20年度 ~	担当部署	環境保全部環境衛生課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 規格葬儀実施件数	件	248	239	329
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷規格葬儀実施件数	円	8,315	7,234	7,675
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	規格葬儀は、それまで実施していた市営葬儀の理念を引き継いだものであり、市営葬儀実施時の実績が死亡者数のほぼ10%で推移していたことから、市が提供する安価な葬儀に対して潜在的に10%程度の需要があると見込まれるため、目標をそれに設定している。				
成果目標 達成状況	目標に達していない。(H24年度7.8% H25年度7.3%) これは、規格葬儀の料金に近い設定の家族葬等を謳う葬儀業者が増えている可能性があり、推移を見守る必要がある。			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	寝屋川市においては、サービス水準がほぼ同等である「市民葬儀」を実施しており、料金は基本プラン147,000円(枚方市標準葬150,000円)、家族葬プラン62,000円(枚方市略式葬65,000円)である。				
事業のPR	本市ホームページに常時案内記事を掲載しているほか「広報ひらかた」紙面におけるPRや、「ご利用の手引」を作成して本庁受付や各支所、各生涯学習市民センター等に配付している。また、平成25年度には枚方市民生委員児童委員協議会高齢福祉部会の研修会に招へいされ、制度の紹介等を行った。				
市民満足度	利用者アンケートでは92%の方が「満足」「どちらかといえば満足」と回答されており、「どちらかといえば不満」「不満」の回答は0%であり、利用された方の満足度は高いと判断する。				
特記事項	市が提供する葬儀に対しての市民からの問い合わせは多い。一般的な葬儀に係る費用がまだ高く、規格葬儀についてはこれからも一定の需要があるものと判断できる。利用者からは、「思った以上に満足できた」ととても親切にいただいた」との声があり、取扱店のレベルも高いと言える。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	制度の説明等をいろいろな場において行うことを心がけ、より一層の周知を図る。また、新たに規格葬儀取扱店を募集することで、各店舗での利用者の選択肢が増えることにより、利便性の向上を図る。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する葬儀事情を踏まえ見直しを検討しては 達成目標に関する所管課回答では、本事業の予算や目的に改善する余地はなく、目標設定については早急に再検討を要する。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		